

第11回久留倍官衙遺跡整備検討委員会 会議録要旨

1 日時 平成27年8月10日(月)午後1時から4時45分

2 場所 四日市市役所9階 教育委員会室

3 出席者(順不同・敬称略)

【委員】

山中章(委員長)・黒崎直(副委員長)・伊藤久嗣・岡田登・中川ゆかり・中森ゆき子・古市立美

【アドバイザー】

三重県教育委員会 社会教育・文化財保護課 川部浩司(技師)

久留倍遺跡運営委員会 西脇壽郎

三重小学校長 荒木昌俊

【事務局】

寺村明彦(副教育長)・伊藤伸樹(社会教育課長)・堀越光信・葛山拓也・五十棲孝子・石毛彩子・

山本達也・松崎由里

4 傍聴者 1名

5 会議録(要旨)

(1)開会

挨拶:副教育長より

協議事項3②以降は、非公開としたいが、よろしいか。 → 全員の承認を得る。

(2)報告事項

①昨年度の工事及び今年度の工事予定について

(事務局より説明)

委員 A	写真の排水施設には蓋がかからないのか。
事務局	基本的に人が行くところではないので蓋は必要ではない。
委員 A	深さは?
事務局	幅26cm深さもそのくらい。
委員 B	地元はそれでいいのか。
委員 C	これらの工事は今年度末までの工事なのか。
事務局	2月いっぱいまでには終わらせたい。
委員 C	来年の春には水は出せるのか。
事務局	はい。
アドバイザー 1	遺跡地からガイダンス施設へ行く通路の排水をみなおしてほしい。晴れの日が続いているのにトンネルには水がついている。壁の水が染み出ているようだ。久留倍祭りで使いたいのだが、水をいかに北側に流すかが大事。
委員 B	水がたまる場所はどこなのか。
事務局	舗装していないので排水溝へ水が流れていかない。思ったより水の染み出しも多い。スロープにも排水溝を付けて、水はけを良くする。
委員 D	市道51号は、道路課の予算で舗装をするのか。
事務局	社会教育課の予算です。

事務局	史跡の境界が道の半分のところまでくるところもあり、史跡に入っているのだからです。
委員 C	現在フラットなところと標識のあるところは運営委員会で草刈りをした。

②政庁東門(八脚門)の実施設計について

(事務局より説明)

委員 B	大きな追加としては、掘立柱の巻銅板、西側戸受け石、その他使用木材ということですがどうでしょうか。
委員 A	扉の材は何か。
事務局	扉は檜、門は杉。
委員 B	柱は大丈夫かとたずねたが、大丈夫ということで、戸受け石は置いておだけか。
事務局	持って行かれると困るので固定したい。そんなにすごい工事ではない。固定するだけ。
委員 A	扉は固定できるのか。強風で外れるとかの心配があるので、動かないように金具を付けるとかするとよい。
事務局	来年度工事なのでそれまでには整理したい。
アドバイザー 1	基礎の下のエスレンブロックとはどんなものか。
事務局	土よりは比重の軽いもので、化学繊維のようなものでできている。後でカタログをお見せする。
委員 E	平面図の方、スロープを作って誘導する工事は、八脚門と別に行われると考えてよいか。
事務局	協議事項とも関連するので後でお答えする。

③小中学校での活用計画について

(事務局より説明)

委員 A	中学校 1 年生で最大規模の学校で何名くらいか。バスで全員が来て対応できるのか。
事務局	ガイドンス施設に入れる人数は限られているので 70 名くらい、体験や史跡地の見学と組み合わせでローテーションで対応していきたい。
委員 A	バスは何台くらい止められるのか。
事務局	3台。
アドバイザー 1	駐車場は3台だが、あおい幼稚園の入り口に大矢知区の所有の駐車場があるので、何かの行事とぶつからなければ利用できる。
委員 A	予約制でないと難しいのではないか。
事務局	博物館でもやっていたのだが、見学する前に担当と先生が打ち合わせをして来てもらっていたので、久留倍でも同じようにしていきたい。
委員 E	文科省の関係で土曜日の授業を実施することになったが、鈴鹿市は学校独自でしているが四日市では現状はどうなっているのか。
事務局	月 1 回土曜日の授業を実施している。年 8 回くらいになるか。
委員 E	総合的な学習の時間に利用するというのは非常に難しい。1 限目 2 限目で 90 分の授業では時間が足りない。社会見学や職場見学など利用してガイドンスへ来てもらえるように、年間カリキュラムの中にきっちりと入れられるようにやっていかないと、活用計画としても絵に描いた餅になってしまう。いざ開館となって準備まで時間がかかるので、教育委員会で綿密にやっていかないといけない。学校にお任せにならないように、学校運営も大きく考えていかないといけない。1 年目 2 年目となっても来てもらえるように 2 回目以降はどうする

	のかの検討が必要。
委員 B	高校は関係ないのか。
事務局	高校についてはまだ計画を立てていない。県の関係になるのでできていない。どのように進めていけばよいのか考えている。
委員 B	最近では理系ばかりに力を入れているようだが、少なくとも社会科の先生はいるはずだから、実態を調べて全員来てもらうのは無理でも何人か来てもらうことを考えてはどうか。社会科だけでなく万葉集も関係するので国語科も。
委員 E	図書館の委員もしているが、四日市大学の先生もいて古代の講座をしてみるとかを地元の大学へも呼び掛けてみるのもいい。大学祭は面白い。枠を広げて考えていくとよい。
委員 A	歴史をやっている学生に壬申の乱のことを聞くと知っているが、四日市を通ったことは知らない。三重県とのつながりは全く知らない。そのことを話すと、初めて知って驚いている。小学生の時にいったイメージ記憶が残らない。専門性を生かした授業のできる年齢がある。県には社会科教員の会がある。そこへ投げかけていって、自慢できるものを見つけておいてほしい。

(3)協議事項 司会 山中委員長

①ガイダンス施設の展示造作(案)について

(事務局より説明)

事務局	事前に送ったものにはクイズも入ってしまっている、ホールの航空写真は上が北向きに変更。大きな訂正は、9 ページの木簡の①は荷札木簡ではないので、壬申の乱で扱う。14 ページの行幸図の輿を 1 基とするか 3 基とするか。
委員 B	特に課題となる点を挙げてもらった、事前に資料を読んだが、課題が多すぎてコンセプトがずれている。まず、順番に見ていくと、18 ページのホール入口、年表は 23 ページですが、床の航空写真について。
委員 E	名前が先か書名が先か統一を。
委員 B	下の年表は横書きが縦書きになっていて見にくい。項目はこれでいいのか、多いのか少ないのか。
委員 A	右から左へいくが、あえてそうしているのか。
事務局	デザイナーがそうしただけ。現代から古代まであるべきか教えてほしい。
委員 D	小学生中学生でもわかる展示をとしていたのにこれでは全くそれがないのでびっくりしている。難しいなという印象である。万葉集や続日本紀もいいが、どの辺に合わせて書いていくのが問題。年表のことだが、弥生時代の始まりは 500 年から 1000 年あがる。古墳時代の始まりも 300 年であったのが 250 年くらいになってきている。大化の改新も 645 年でいいのか。鎌倉幕府も 1192 年とされていたが、変えないといけない。今の説とは、ずれているので見直しが必要。この展示は歴史の好きな人が見ればわかるが、中学生ではわからない。
委員 B	年表は右から古い順に直す、数字は漢数字に直す。そもそもこの年表を含め、解説のコンセプトは誰を基本においているのか。
委員 A	学生は時代を言えない。自分の生きている時代からさかのぼるのが良い。年表に南北朝時代がない。享保の改革だけがあるのはなぜか。現代はいるのか。
委員 A	享保の改革はいらない。大矢知が忍藩領になるという項目を入れたほうが良い。
委員 F	日本の歴史に沿って流れていて、久留倍官衙がどの時代にあったのか示してほしい。

事務局 縦を横にしたときに示した部分が外れてしまった。

委員 F 初めての人は官衝が読めないで、ふり仮名は付くのか。

委員 B こだわっていても時間が過ぎるので。

アドバイザー 2 学校の立場から言うとこのままではダメだ。なぜこれが入ってこれが入っていないのかという感じ。メリハリがついていない。全部見直してほしい。

委員 B 全面的に見直し。地元に関係のある内容を入れていく。黒崎先生が言われたようにこのタイトルも誰を対象としているのか問題だ。これはおいておいて。イラストや写真についてまずご意見を。

委員 F 2章9ページに木簡が出ているが、奈文研の写真を見ても全く読めない。「じょく」と読めない。「ぬか」と読めない。

委員 B 奈文研の公式見解としてこの字なのか。

委員 F なぜ読むのか全く読めない。「奴可多」ではないか。

委員 B 考古学の世界でよくわからないが、論文で出てきている。
奈文研に確認する。中川先生は原文を見たことはないのですね。
1番が木簡かどうかについては、木簡は木簡です。削りくずだから文書木簡ではない。

委員 B 事務局で確認を。

委員 F 壬申の乱のイラストは、こんなに緑の濃い季節でいいのか。

事務局 今の暦で7月24日なのでこれでいい。

委員 B 戻りまして1章から。

委員 F 「在」ははっきり動詞の在ではなくて、前に行ったのは〇〇、後で行ったのは〇〇という意味。

事務局 知りたいのは、同行していたかどうかで。

委員 F 恭仁京に後で来たのだから、同行しなかった。しなかったと言っている人はいないのか。

事務局 知る限りではありません。展示する立場としては、〇〇の説によったとするのがやりやすい。

委員 F そうしか読めない。

委員 B 一緒に行列にいたとは言えないのか。

委員 F 行列の前とか後とか読めない。恭仁京に後から来たわけだから。

委員 A 太上天皇と皇后が同行したら女官が出てくるはず。恭仁京に天皇の後からこられた、聖武天皇が行ったのは確かだから、1基だけにして他は注釈で一緒に行ったかもしれないと説明する。3基書くと四日市市がそうしてしまったことになる。

事務局 持統天皇、元明天皇・元正天皇の行幸記事にも女官の記載がない。

委員 A 女性が行っていたら文章に上げているはず、描かないのが無難。絵は聖武の輿だけクローズアップして後はぼかす。

委員 F 「妹に恋い」だから同行していないと思う。

委員 B 細かいことを言うと21ページの桑名の郡家は「石上」ではなく「石占」。

委員 A 1章の内容について。前に配った文章についてだが、年号が西暦だけのところと天平〇年(〇)と書いているところとあるので、両方を併記する。「八脚門を塀で囲んだ」「脇殿を塀で囲んだ」とあるが八脚門は塀に囲まれない。

委員 F 「皇統関係図」。

委員 E 「和妙類聚抄」が違う。「倭名類聚抄」。「異型円面硯」が違う。「異形円面硯」。誤字が多い。

委員 B 基本的な整理ができていないので、誰を対象にして説明しているのかをはっきりさせて、根本的に直さないとだめだ。個別に言っていただいても消えてしまう可能性があるので、委員会に出すには粗すぎる。

委員 F 万葉集には現代語訳も付ける。現代語訳をチェックしようとしてもなかった。

委員 A 日本書紀の原文を出すのはいいこと。でも、そこに現代語訳を付けることも大事。

委員 F 日本書紀も原文で出すのであれば万葉集も漢文で。

委員 A 資料として出すのであればそこまでする。

事務局 行幸の随行人をメモで書いておいたら、展示作業業者が入れてきたのだからどうか。

委員 A 全部名前を出すのならば、官職名も入れると面白い。どのくらいの人が来ているのかわかると面白い。

事務局 15 ページに名前を並べてみたが、もう少し詳しく書いた方がいいかと思った。

委員 A 小学校・中学校・高校の教科書に出ている人は色を変えてみると面白い。

委員 B もし、この名前を出すのならどんな人が説明がないとわからない。非常に簡単にわかりやすく書かないと。

委員 E 以下〇名としておく。どんどん初めて見る文字があつては、久留倍遺跡を難しくしてしまう。もっとわかりやすい親しみやすいものにしないと普通の博物館の展示になってしまう。ガイドダンスには、小中学生にわかりやすくということと、久留倍官衙遺跡を理解してもらうという2つの機能がある。

事務局 文字数に制限があつて、表現したい半分になってしまっている。詳しい内容は、「もっと久留倍」のようなコーナーを作つてホームページでするしかないと考える。展示では到底できない。

委員 A ルビまでふつたらルビまで読めない。はしらだけふつてもらつて。

委員 D パソコンでやるやつですか。そうではなくて、ガイドダンスでできる博物館などでソフトがあつて、パツパツとでてくるものを。

事務局 プラネタリウムでやっていたけど、メンテナンスが大変。

委員 D それは古いもので、今はもっと簡単にできる。デジタルサイネージならメンテ不要。

委員 C このようなところへ最近行くと映像とかで説明しているが、久留倍はほとんどパネル展示で映像はないのか。

事務局 B 壁面で、映像はある。

委員 C 吉野の歴史博物館には、壬申の乱というボタンを押したら説明する人形が出てきて説明をする。なぜそのようなことをしないのか。現代的な「ワッすごい」を入れてもらえばいわゆるわかりやすい形でできる。あそこへ行ったら新しい展示の方法があるよというのはできないのか。

事務局 基本設計の段階で予算の額が決まってしまったため旧態依然としたものになってしまった。VR、ARもやってみたいが予算のこともある。整備検討委員会でも意見をもらっていると云えば予算要求しやすい。

アドバイザー1 将来に渡つてできることもある。予算も取つてもらえるように応援しなければならない。

事務局 文化庁の予算が使わせてもらえるならやってみたい。史跡地の方でも VR もやってみたい。

アドバイザー1 難波宮でバーチャルはやっているのか？

事務局 ARでやっている。GPSの限界でズレが出る。四日市の場合は復元とかあるので、それらと画像がずれてしまう可能性がある。

- 委員 B 採択されればと言っていると採択されなければダメなので、採択されるようにしてもらわないと困る。ぜひ、その方向でやるとしないと困る。VR は委員会として強く要望する。強く事務局から要求要望してもらおう。もう一度案を立て直して、提案してもらおう。対象者をはっきりしてもらおう。ただ、原文は原文で表現する。全体のコンセプトをもっとはっきりしてもらおう。
- 委員 A 第1章、第2章は論文みたいで難しいから、第1コーナー、第2コーナーとか子どもが喜ぶように。
- 委員 C 久留倍祭りを11月8日にするが、今年は朝明中学校の1年生に手伝ってもらおう。歴史の劇をしてもらう。今の学生に劇のせりふを覚えてもらうのはとんでもないことで、できるだけ簡単に作ってもらった文章でも読むのも大変。小中学生に分かりやすいものを作してほしい。今のままではほとんどわからない、読んでもわからないでは、リピートしてもらえない。何回も何回も足を運んで理解を深めていける展示にしてほしい。わかることが大事だ。
- 委員 A 中学生がわかるのが大事で、中学校の社会科の先生に入ってもらってわかるかどうか判断してもらおう。
- 委員 D 学習プログラム編集委員会にお願いすることはできないのか。
- 事務局 できると思う。
- 委員 F ここに1300年前の役所があった。官衙が難しいので、普通の言い方で言ったらどうなるのかからはじめて、難しくしていく、今の感覚でとらえられえるようにしないといけない。
- 委員 D 「全国でもめずらしい東を向いた1300年前の役所跡が見つかりました。」これ簡単で分かりやすい。
- 委員 C 先日、神奈川県茅ヶ崎で官衙遺跡シンポがあった。「官衙遺跡を利用した街づくり」を説明してきた。役所跡はたくさん発見されているが、歴史と接触した遺跡はあまりないことが分かった。官衙だけでは、街づくりのためにつながらない。官衙跡がありましたで終わっている。久留倍は全国の官衙とは違うことを歴史とつなげて訴えたい。
- 委員 B まだまだ、工夫すればわかりやすくすることはできる。アイデアは出てくる。学校の先生や市民の方々を入れて再考を。
- 委員 E 整備工程はどうなっているのか。来年のタイムスケジュールはどうなるのか。
- 事務局 12月までにガイダンスの内装に入らないと間に合わなくなる。後で説明をする。